

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】令和6年3月1日(2024.3.1)

【国際公開番号】WO2022/255313
 【出願番号】特願2022-542778(P2022-542778)

【国際特許分類】

C 0 9 J 4 / 0 2 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 9 J 1 1 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 9 J 1 1 / 0 8 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 9 J 7 / 3 8 (2 0 1 8 . 0 1)

10

【F I】

C 0 9 J 4 / 0 2
 C 0 9 J 1 1 / 0 6
 C 0 9 J 1 1 / 0 8
 C 0 9 J 7 / 3 8

【手続補正書】

【提出日】令和4年7月12日(2022.7.12)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(メタ)アクリレートモノマー及び架橋成分を含む硬化成分と、紫外線硬化剤と、を含有する紫外線硬化性組成物であって、

前記(メタ)アクリレートモノマーは、前記硬化成分100重量%中に、ホモポリマーのガラス転移温度が $-70 \sim -30$ であるモノマーを50~85重量%含み、

30

前記組成物を $150 \mu\text{m}$ の厚みで基材上に塗工して塗工上面を封止せずに、大気環境下で波長 $315 \text{nm} \sim 480 \text{nm}$ の紫外線を放射照度 $90 \text{mW}/\text{cm}^2$ 、照射量 $1350 \text{mJ}/\text{cm}^2$ の条件で照射することによって得られる硬化物は、ゲル分率が $0.4 \sim 78\%$ であり、ガラス転移温度が $-35 \sim 10$ であり、反応率が 83% 以上であり、かつ、前記基材側の面に対する大気側の面の反応進行率が 93% 以上であることを特徴とする紫外線硬化性組成物。

【請求項2】

更に、前記硬化成分に対する反応性を有さない非反応性成分を含有する請求項1記載の紫外線硬化性組成物。

【請求項3】

40

前記硬化成分100重量部に対して前記非反応性成分を $0.1 \sim 140$ 重量部の比率で含有する請求項2記載の紫外線硬化性組成物。

【請求項4】

前記非反応性成分は、熱可塑性樹脂及び粘着付与剤の少なくとも一方を含む請求項2記載の紫外線硬化性組成物。

【請求項5】

前記硬化物における大気側の面及び前記基材側の面の反応率が共に 80% 以上である請求項1記載の紫外線硬化性組成物。

【請求項6】

前記架橋成分は、前記硬化成分に対する反応性を有するもの、又は、前記硬化成分及び前

50

記非反応性成分と反応するものである請求項 2 記載の紫外線硬化性組成物。

【請求項 7】

前記架橋成分は、イソシアネート基、エポキシ基、アルデヒド基、水酸基、アミノ基、(メタ)アクリレート基、ビニル基からなる群より選ばれる少なくとも 1 つの結合性官能基を有する請求項 1 記載の紫外線硬化性組成物。

【請求項 8】

前記架橋成分は、ホモポリマーのゲル分率が 80% 以上となる(メタ)アクリレートモノマーを含む請求項 1 記載の紫外線硬化性組成物。

【請求項 9】

前記架橋成分は、25 での粘度が 10000 cps 以上である(メタ)アクリレートモノマーであり、前記硬化成分 100 重量%中に 0.1 ~ 25 重量%含まれる請求項 1 記載の紫外線硬化性組成物。

10

【請求項 10】

前記紫外線硬化剤の含有量は、前記硬化成分 100 重量部に対して 0.2 ~ 10 重量部である請求項 1 記載の紫外線硬化性組成物。

【請求項 11】

前記紫外線硬化剤の含有量は、前記硬化成分 100 重量部に対して 0.4 ~ 5 重量部である請求項 10 記載の紫外線硬化性組成物。

【請求項 12】

前記硬化成分は、窒素含有モノマーを含む請求項 1 記載の紫外線硬化性組成物。

20

【請求項 13】

前記窒素含有モノマーの含有量は、前記硬化成分 100 重量%中に 5 ~ 33 重量%である請求項 12 記載の紫外線硬化性組成物。

【請求項 14】

前記窒素含有モノマーは、ラクタム構造を有するモノマーを含む請求項 12 記載の紫外線硬化性組成物。

【請求項 15】

前記硬化物のゲル分率が 15 ~ 67% である請求項 1 記載の紫外線硬化性組成物。

【請求項 16】

印刷用紫外線硬化性組成物である請求項 1 記載の紫外線硬化性組成物。

30

【請求項 17】

スクリーン印刷又はインクジェット印刷で用いられる請求項 16 に記載の紫外線硬化性組成物。

【請求項 18】

基材と、前記基材の少なくとも片面に設けられる請求項 1 ~ 17 のいずれかに記載の紫外線硬化性組成物からなる粘着層とを備えることを特徴とする粘着シート。

【請求項 19】

前記粘着層が前記基材上に部分的に配置されている請求項 18 記載の粘着シート。

【請求項 20】

請求項 18 記載の粘着シートに含まれる前記粘着層を介して第一の被着体と第二の被着体とが貼り合わせられていることを特徴とする積層体。

40

【請求項 21】

第一の被着体上に、請求項 1 ~ 17 のいずれかに記載の紫外線硬化性組成物を塗布し、露光することにより粘着層を形成し、前記粘着層上に第二の被着体を貼付することにより積層体を作製することを特徴とする積層体の製造方法。

【請求項 22】

前記紫外線硬化性組成物を塗布する方法は、インクジェット印刷、スクリーン印刷、スプレーコート、スピンコート、グラビアオフセット、又は、反転オフセット印刷であり、前記紫外線硬化性組成物が前記第一の被着体上に部分的に塗布される請求項 21 記載の積層体の製造方法。

50